

# 神戸川自然環境調査報告

大島展志・中村幹雄・山本孝二・佐々木正明・狩野武俊

斐伊川・神戸川の治水計画に伴う神戸川の漁業に対する影響の事前調査として、下流域のそ上魚を主体とした魚類の生態調査を行った。本報告の詳細は水試資料Ⅱに記し、以下その概要を報告する。

## 調 査 概 要

調査内容は次の通りで、調査地点を図1に示した。

1. 神戸川のアユを主体とした魚類のそ上生態
2. 神戸川のアユ仔魚の流下量
3. 神戸川下流の魚類とその分布

1・3については、各調査点において投網により魚類を採捕し、2は主として夜間において稚魚ネットによりふ化仔魚の採捕を行った。

## 調 査 結 果

調査結果の要約を以下に述べる。

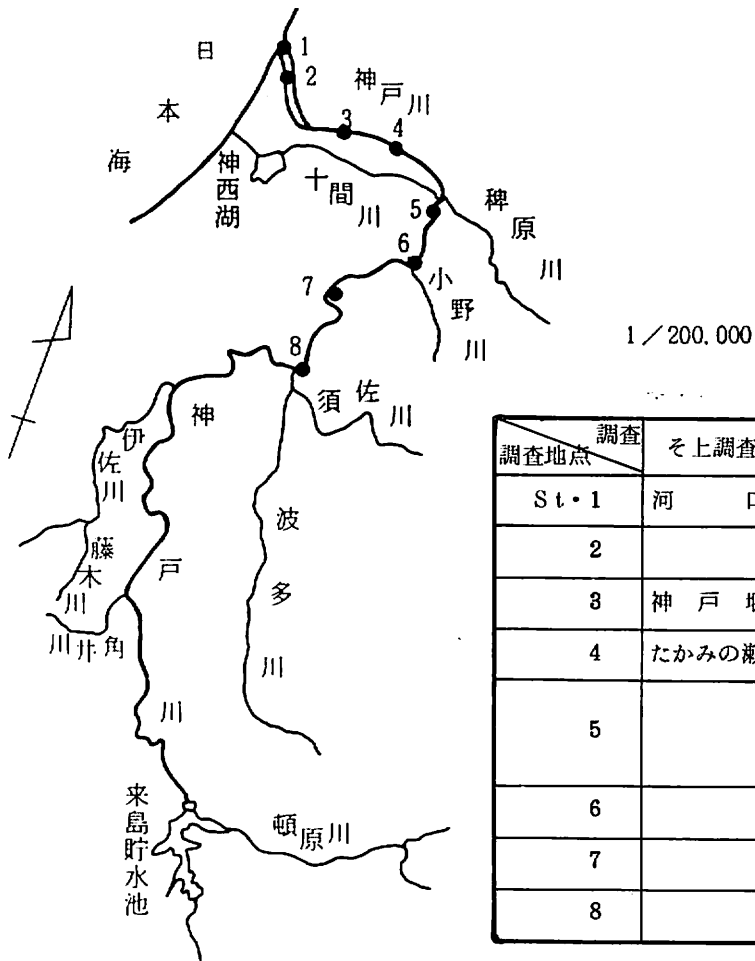
1) アユのそ上時期は4月10日以降6月末、盛期は4月中旬～5月中旬である。そ上量は次年度に行う。

2) アユの流下仔魚は10月12日～1月7日まで採捕され、ピークは10月12日前後と10月下旬～11月上旬頃である。24時間調査による流下密度のピークは18時頃と21～23時の2ピークが認められる。産卵場は流下仔魚の出現時刻と親魚の採捕状況から神戸堰からおがわじりの瀬の間で、主産卵場が神戸堰からたかみの瀬間と思われた。総流下量は2,300万尾と推定された。

3) 下流の魚類は、そ上魚が28種、純淡水魚が17種計45種である。アユを除く大部分のそ上魚は、河口より約7.6kmの神戸堰までにとどまっている。数量は河口淵と神戸堰に多い。

4) 体長と体重の関係から「太りぐわい」の相違を比較した。

5) 河口部の淵のシジミはヤマトシジミである。



調査地点	調査	生態調査
St・1	河口	河口
2		崎屋橋下
3	神戸堰	神戸堰
4	たかみの瀬	たかみの瀬
5		てらだの瀬 (7月以降) ちたにの瀬
6		おがわじりの瀬
7		みやのまえの瀬
8		ひかきまえの瀬

図1 神戸川下流の調査地点